

# 福井大学化学物質リスクアセスメント・マルチツールの概要

http://roukan2.ad.u-fukui.ac.jp/risk\_assessment\_new/

← メニュー

使い方の詳細は「利用説明書」をご覧ください。

## 化学物質入力 Chemical Input

実験で使用する化学物質による健康障害防止のためのリスクアセスメントを実施します。リスクレベルを調べる化学物質名またはCAS No.を入力してください。

赤色の候補は、[こちら](#)に例示されている表示・通知義務物質（=リスクアセスメント法定物質）です。

成分数  GHS呼出対象  システム  ユーザ  システム&ユーザ

成分1:  候補  濃度  wt%

危険 消防: 引火性液体 他の成分が無害の場合のみ濃度変更可です

## 実験条件 Condition

この化学物質を使用して行う実験の条件を入力して下さい。

操作名

使用温度  °C

使用量 (※1)  mL  (1gまたは1mL未満は対象外です)

作業時間 (※2)  min  (1分以内は対象外です)

作業頻度  週1回以上  週1回未満 →  回/週

換気状況  なし  一般換気  工業換気・屋外作業  局所排気(外付)  局所排気(囲式・ド raft)  密閉化

[▼詳細](#)

汚染状況 作業者の作業服・手足・保護具に化学物質による汚れが  見られない  見られる

全量散布 「スプレー作業のように全量が空气中に散布される作業」に  該当しない  該当する

作業面積 「塗装作業や接着作業など、化学物質の合計塗布面積が1m<sup>2</sup>超で、かつ1日当たり1L以上使用する作業」に  該当しない  該当する

呼吸用保護具   フィットテスト

## 結果 Results

リスクレベルが高い場合は実験条件を見直し、再評価を実施する。

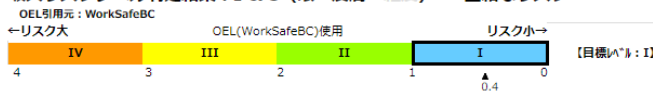
←必ず出力して保管して下さい  ←少し時間がかかります

半定量的手法  定量的手法  少量・低頻度向け |  日本GHS  EU-GHS  NIH-GHS ← [説明](#)

ミスト発生 |  揮発性評価に蒸気圧使用 [説明](#)

健康障害リスクアセスメント結果を実施レポートの   へ反映 (再クリックでクリア)

吸入リスクレベル判定結果: I & S (眼・皮膚・経皮) → 些細なリスク



<総評>作業環境は十分に良好です。

有害性情報 (区分1)

・長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、消化管の障害 + 眼・皮膚の障害

急性中毒リスク     ← [説明](#)

保護手段の適合材質

対象物質	極めて優秀	優秀	使用不可	使い捨てタイプで追加の使用不可
Acetone	ブチル、シリバーシールド/4H、シリバーシールド	-	ニトリル、ネオプレン、塩ビ	天然ゴム

所属:  ←福井大関係者は学部・センター名+学科・専攻名 (学生の場合は研究室名も)

氏名:

福井大教職員  福井大学生  学外学術研究機関  企業等  その他 ←正しく選択してください

← CRA結果を反映するボタンは「結果」と「火災・爆発CRA」の上部にあります

追加情報  結果の詳細  火災・爆発CRA結果

← 記録の保管等にご利用下さい (火災・爆発CRAを行った場合は上にチェックを入れてください)

このページの右中ほどで「火災・爆発」のリスクアセスメントが可能

